



世後形見
全

神田區神田
三丁目
三番地
三番地



口 9
1350



とてさうさうまじきは強ひて
うーあゝさうのさうもも司
歸さあゝは昔なると拙さ大和
さのさあ浅深うて序とと
かゝあつじちささやうは柳の家
ちりあん後の飛見とはるさ

安永六年 酉九月

八十一歳

知足上人書



見宜堂正溫讀禪録
呼祖父為見桃因襲
及父亦予矣

長等潤画



靈雲禪師偈曰
三十年来尋劍客
幾回葉落又抽枝
自從一見桃花後
直至如今更不疑



百年後形見

○死而不亡者壽といふは老子經十章の語なり
王弼林希逸の注は必の陳眉公の説小堯舜禹湯文武
周公死といふも今亦死てあるは死は死といふ
不亡の道とせりこれ少の河上公此章句は書改て死
而不妄者壽とて注は目不妄視耳不妄聽口不妄
語則無恙惠於天下故長壽也とせりこれ一説あり
予は死の字在るは枯木死灰とあるを

虚無自然キヨムシゼンなりと死シるるにありは真神シニジンがやう
ふて亡ホロビざる海イノチガシなりと壽イノチガシといふるある主汝言明ワレヨガンメイ井医
雜者ザツノナヨ不フスいふ臥病即於胸前不時手寫一死字則百般思慮
俱息此心得安靜此無上妙方也とある老子の
言ふコノロいふ海マスケシツカなりと老子經第六十章小谷神不死
是謂玄牝コノライフゲニヒント也ソウジ造化ゾウカといふなり自然の理
なりサノイてサノイのなるは道とすゼンケ祿家の本来面目と同一
なり老子は谷神ヒミツガウなり秘密のなるなりとあるにせむ

生フレナひて死シるるやうにして居るは道とすなりとあるは
よくよくふくむは玄牝ゲニヒニなり女メけものなり天地は
根ネとゲニヒニ玄牝の門とせむも一切はもと一なる天は地は初イダと
万物は生ジブツずるものなりとあるは有は生ニヤウ出ムるは有は生ウなり
ありて百年は骸乃有はつとあるは福ケレフ福フク
壽天は天命なり因果なり造化自然の谷神なり
者ともすむるものなり

○八十軍中書といふ候 上書は百軍中書は八十

果下^カ果^{ビユ}は六十果とするなり予尚^ニ年^ニ十一歳^ニ秘^ニの
人生七十^ニ古^ニ来^ニ稀^ニといふより凡^ニればいきのびより
百年^ニ三^ニ万^ニ六^ニ千^ニ日^ニと算^ニば久^ニき月^ニ日^ニなり予^ニ惠^ニ心^ニ信^ニ於^ニ
の^ニ繼^ニは^ニ十^ニ多^ニ果^ニ令^ニ人^ニ連^ニ持^ニ未^ニ足^ニ三^ニ万^ニ日^ニといふ^ニ我^ニ等^ニ少^ニる
れ^ニる^ニさ^ニる^ニ地^ニ々^ニ眼^ニ耳^ニは^ニあ^ニは^ニけ^ニせ^ニど^ニ足^ニは^ニふ^ニく
ち^ニ節^ニ多^ニ世^ニ降^ニば^ニう^ニう^ニい^ニ龍^ニ草^ニ盧^ニとい^ニふ^ニ我^ニ等^ニ此^ニ和^ニ飲
少^ニて^ニむ^ニう^ニい^ニあ^ニり^ニは^ニ秋^ニは^ニ寒^ニは^ニふ^ニる^ニと^ニ我^ニ等^ニな^ニき^ニと^ニく^ニ我^ニ等^ニ
お^ニふ^ニ人^ニの^ニ神^ニや^ニら^ニん^ニと^ニあ^ニは^ニけ^ニん^ニか^ニも^ニい^ニふ^ニく^ニと^ニし^ニて

僕^{モヨ}は^ニゆ^ニり^ニぬ^ニる^ニ之^ニ材^ニある^ニ男^ニ子^ニ此^ニ強^ニは^ニう^ニう^ニい^ニふ^ニ二^ニ師^ニ
なる^ニ世^ニ降^ニは^ニ盲^ニ人^ニと^ニて^ニ琴^ニ書^ニ試^ニる^ニい^ニ秘^ニ曲^ニ試^ニは^ニあ^ニ
く^ニと^ニも^ニ捨^ニく^ニ其^ニ衣^ニの^ニ業^ニ試^ニつ^ニと^ニ學^ニ文^ニ試^ニこの^ニめ^ニ里^ニ
む^ニ一^ニ龐^ニ安^ニ常^ニは^ニ明^ニ医^ニる^ニれ^ニと^ニ聲^ニう^ニう^ニく^ニ東^ニ坡^ニ乃^ニ
友^ニなり^ニく^ニ東^ニ坡^ニの^ニい^ニう^ニ余^ニ以^ニ手^ニ為^ニ口^ニ君^ニ以^ニ眼^ニ為^ニ
耳^ニと^ニされ^ニバ^ニ世^ニ降^ニは^ニ余^ニ書^ニ試^ニ讀^ニせ^ニく^ニ其^ニ理^ニ試^ニは^ニあ^ニ
ふ^ニ靈^ニ雄^ニ經^ニ傷^ニ室^ニ論^ニ入^ニつ^ニ回^ニ春^ニを^ニ弟^ニよく^ニ暗^ニ社^ニ其^ニ
げ^ニふ^ニ也^ニ觀^ニ善^ニ賢^ニ賢^ニ經^ニ小^ニ閉^ニ目^ニ則^ニ見^ニ開^ニ目^ニ則^ニ失^ニと^ニある^ニも

ありづゝ^{アハ}呼^{キマウ}教主新^{レユシヤクソニ}も我身^{バニ}よりて文宣王^{センワウ}の
より孔子^{コウシ}は七十二世^{セシ}は七十九年^{シヤク}より八十一年^{ハチジュウイチ}も
及^キより半^{ハニ}涅槃^{ネパナ}より佛^{ブツ}は分^{ワケ}ふ半^{ハニ}は法^{ホウ}は漢^{カン}
の律^{リキ}系^キは佛祖^{ブツ}統^{トウ}紀^キ小周昭王^{シヤウワウ}二十四年^{シヤク}甲寅^{キョウヘン}四月^{シツ}八日^{ニチ}
御^{ミコ}誕生^{タニシマタ}周穆王^{シヤク}五十二年^{シヤク}壬申^{ニハサル}二月^{ニハサル}十五日^{ニハサル}御^{ミコ}入滅^{ニハサル}す
文献^{ブンケン}通考^{ツウカウ}小初^{コソ}より入滅^{ニハサル}七十九年^{シヤク}とせり本朝^{ホンチャウ}文粹^{ブンスイ}卷
十四^{シヨウ}陽成院^{ヤウセイイン}四十九日^{シヨウ}神^{カミ}預^ヨ文^{モン}後^ゴ江相公^{エハシヤウコウ}上^{カミ}畧^{リョク}姑射山^{コシャサン}之上^{ノヘ}
送^{オウ}八十之春^{ハチジュウノハル}風^{フウ}功德林^{トクデリン}之中^{ノナカ}迎^{ムカフ}四^シ相^{サウ}之秋^{ノアキ}月^{グヱツ}言^{イハス}其^{ソノ}尊儀^{ソンギ}

娑婆^{シャバ}世界^{セカイ}十善^{ジュゼン}之主^{ノミナト}計^{アズカセ}其^{ソノ}寶^{ホウ}算^{サン}新^{シン}初^ソ迦^カ如^{ニハサル}来^キ一^{イチ}年^{ネン}之^ノ兄^{ケイ}
鬼^キ貫^{カン}といふ佛^{ブツ}士^シ八十^{ハチジュウ}のまゝ法^{ホウ}達^{ダツ}と佛^{ブツ}兄^{ケイ}と変^{ヘン}名^{メイ}せり
誰^{タレ}が果^{ミダリ}目^メ不^フ門^{モン}松^{マツ}や冥^{メイ}途^トの旅^{リョ}の一^{イチ}里^リ塚^{ツカ}ある代^{ダイ}は
浮^ウ世^セは旅^{リョ}乃^ノかり松^{マツ}弟^{テイ}系^{ケイ}よりある處^{トコロ}分^{ワケ}れけふの冬^{フユ}名^ナ
あすの曙^{アケボロ}はじりもやうて冥^{メイ}途^トの兄^{ケイ}
○^マ人^{ニヒト}は愛^{アイ}ありといふは^{ソウ}在^ニ子^シち宗^{ソウ}師^シ小^コ古^コ真^{マコト}人^{ニヒト}其^{ソノ}寢^ネ
不^フ夢^ム其^{ソノ}覺^{カク}を憂^{ウレフ}といふは^{ソウ}在^ニ子^シち宗^{ソウ}師^シ小^コ古^コ真^{マコト}人^{ニヒト}其^{ソノ}寢^ネ
もろく人のいふなりとて不^フ周^{シュウ}公^{コウ}武^ブ居^イはと孔子^{コウシ}の

此よりして人の心は^{シロコト}心ならずとも^{コロガニ}あがりてあつた
 あひくがど老あふゆその志乃^{コロガニ}わらへあふゆふんあ
 れあかげさなり心^{キヨム}に虚をあらはさるは^メ足るべし大
 智度論^{チドロン}不^{ユメ}實事^{ミダリミル}而妄見^{トキリ}と説^{チン}素^ニ同^ニは^ニみ^ニる^ニ虚
 しく夢^ニは^ニる^ニとい^ニい^ニ周^ニ礼^ニ小^ニ六^ニ爰^ニは^ニ者^ニ函^ニ以^ニ不^ニ爰^ニは^ニ氏
 圓夢^{エニム}と書^{カケ}山^{サニ}谷^{コク}詩^シ小^サ茶^{チャ}夢^ム小^サ僧^{ソウ}圓^{エン}註^{チュ}有^{ユウ}徐^{セウ}文^{ブン}能^ネ圓^{エン}夢^ム
 とい^{エニ}り^ニる^ニ圓^{エン}兆^{テウ}と^{ユメ}も^ニ圓^{エン}之^ニと^{ユメ}も^ニす^ニる^ニ瑯^{ラウ}琊^マ代^{ダイ}醉^{スイ}
 群談採餘^{グンダンサイヨ}皇明^{クワウミン}通純^{ツウキン}多^タ不^フ足^{トク}り其^キ謔^{ケン}とい^ニふ

仰^{ホト}され^{ツイ}玉^{ツキ}皇^{ミカド}の^{カニ}漢^{カン}和^ワ聯^{レン}句^クに^{タレ}誰^ニ鷹^{タカ}圓^{エン}始^シ汝^ニ三^{サン}猿^{セン}序^コ
 程^{ホト}とい^{ツイ}ふ^{ツキ}對^{タイ}し^ミる^ミる^ミ番^{バン}其^シ王^{ワウ}濬^{ジュン}が^{トウ}刀^{タウ}州^{シュウ}夢^ム和^ワ初^{シュ}れ^ミ
 一^{アフ}を^フ取^リく^{サカ}あ^フふ^{サカ}あ^フい^フと^フ足^フく^フ圓^{エン}白^{ハク}に^フあ^フり^フあ^フふ^フ
 判^ハる^ハた^ハう^ハも^ハあ^ハり^ハあ^ハれ^ハ若^ニく^ニ北^{ホク}條^{テウ}友^{ユウ}ら^ニ玉^{ツキ}源^{ゲン}集^{シツ}
 以^シ石^{シツ}公^{コウ}され^シる^シ時^{トキ}あ^カふ^カて^カ抱^カあ^カつ^カじ^カと^カ足^フる^フ来^{ライ}あ^フふ^フ公^{コウ}
 あり^{ツキ}と^{ツキ}は^{ツキ}ざ^{ツキ}り^{ツキ}一^{ツキ}賢^{ケン}き^{ツキ}こ^{ツキ}と^{ツキ}なり^{ツキ}後^ゴ醍^{テイ}醐^ゴ天^{テン}竺^ニ茶^{チャ}系^{ケイ}
 あり^{クシ}く^{クシ}楠^{ナン}氏^シた^ハの^ハあ^ハふ^ハ謀^{ボウ}な^ハれば^ハ我^ニる^ニふ^ニた^ニる^ニず^ニあ^ニ
 耶^{カニ}邪^{シヤ}乃^ニ樂^{ラク}も^ニあ^ニい^ニひ^ニが^ニく^ニる^ニさ^ニあ^ニは^ニば^ニあ^ニは^ニい^ニひ^ニ

一武有出落大細云客法にの山飲よとやゆ一若
 一若とる人なむうつれある世法やあるはさる
 一若

〇心法系止むに反一切病治す候 止観卷八 病患
 境常止心於足者能治一切病何雨五識在
 頭心多上縁心使風風動火火融水水潤身
 是故上合調而下分乱以致諸病中畧心若
 縁下吹火下溜飲食消化五藏順也最爲良

治ありがさしおしなりイロ 眠少くあるもの公有
 頂天なるを聲は耳よあるを公上しくうかく歩
 ぬは溝へ入るを原蹶今も仍あるものなりこれ
 弓のしるをゆなり書所此法範小火法灸とて
 君大相公の上もの病なり病の字す小丙字なり灸
 あづびがさ生れなり春秋左傳桓公十三年春
 楚の莫敖れ官の屈瑕といふ人羅といふれを伐する
 とき傍守小圃伯比といふもの足送りよりゆき及す

我がケライイ モウガタリ クツカ
 我家来小相済一屈瑕は、あらず敗軍とてくその
 以は屈瑕を慢しく奉趾さくく公はあつた
 とひく楚の君へするひの軍勢をくはと諫を
 と楚をハハつたをせしゆ（君は夫人はあけとむま
 楚をたどられろ人殺伐場の事ふあは怯る事
 傳く少せあし諫さすゆ（をうく人殺せとむま
 どと軍勢おひるあしゆ（屈瑕はあつたの戦れ
 る細小なり自慢さく公をうり備る敵戦輕ト

と敗軍一猛死さる止觀の公は足不止とよる
 たりとの公事ふさるるあつた
 人影小滅灸人相墨のろはる唐段成式が
 酉陽雜俎云有王山人五更張燈相人影知休
 咎近有人善灸人影治病者といふ和物ふも
 人形の給ふ滅灸刺く痛痒を愈すく世俗
 評判せらるつは其沙はもやめ郭何果とや
 人相なりくさるあつたが太坂より富家の世将

法橋古林見枕多とは何れと方殿古枕城すく
 あげ給ひ室中を移る候よりくねむとあるは
 修下より累りく候有と心脈減るは後夜望
 浮腫めと診察しと還き相人をもとあるは
 所ふとく弛を改人お付しく丁寧なる科理成
 後方飯後此の医者相なるありしをき用人に列
 少く心脈減るは心脈減るは心脈減るは心脈減るは
 情紙等紙等紙等紙等紙等紙等紙等紙等紙等紙等

謹

附侍医電贖

奉呈医案

大邦貴族君為造化小兒所苦求医干京師僕
 忘固陋辱兼貴命不遠千里而來乃奉診脉
 左微弦而虛浮右虛浮而濡侍医中村何某語
 予曰貴齡未及弱冠御年十七當復浮腫奉治少平
 愈其後咳痰帶血逐日吐血一二合計伏枕又
 兼患痔疾憔悴矣予以為免内經大忌之年數

不亦說乎今歲庚寅司天少陽中運金在泉厥陰厥陰風木而動搖之象故民生眩暈逆上頭瘡失血之症不為不多如貴恙肝木乘脾土脾土為之苦則有浮腫如痔疾亦濕熱之故也幸時隣春辛卯陰年而水運司天陽明燥金順化也貴體迎春則得天時乎司天金戒木賊水運鎮火病之機也大凡吐血火病也故仲景治吐血以瀉心者所以治火也然火有虛實不

可執一矣李挺入門云血病每以胃藥收切胃氣一復其血自止又云痰火見血不可純用血藥恐泥痰治之如何主方如左

外臺秘要

小前胡湯

右本方以貝母代半夏蓋小柴胡湯之柴胡代之以前胡而名方者也前胡降氣治痰咳故代柴胡升提之才也又去半夏用貝母者

貝母ガイモ潤而治痰フチスルトケウラ吐血クワリ之能故代半カハミ復之カハミ燥

也

加味 白朮 茯苓 芍藥 青皮

桑白皮 山梔子 天瓜粉

白朮茯苓為調和胃氣也所謂治病求其本本者胃氣也天瓜粉能是通水治痔疾青皮抑肝疎之桑白皮清肺止咳嗽山梔子下火芍藥收血也

抑り血を止る薬試さうあがらぬ血を止るは血止
痔疾浮腫も平愈しあひ食ふもやあげ給ひ
咳すうしゅうり給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり
と後以てしうしゅうり給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり
山梔子しうしゅうり給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり
取く賜りしうしゅうり給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり
後人しうしゅうり給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり
氏何果る給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり給ふしうしゅうり

中はる不系名と山崎家十代もの七ねど山崎のゆへ
面目方にあまうと發白せり

多柳くいあも湯で系結表

○産業式精かく忠義式すしに終り代味ひ極まは
恒産あまうは恒心あり片難きありなり士農工商
おのづから職式神式さだまり武藝式精かく學冬
ふけ役目式あるにしれ歎かく忠義式する極まは
百姓は耕作小骨式ありまう匠若は貪欲の志あり

紫文く誤あまうに情むる商人は賣買ふ金
よきすしは書物式むる交易といひ學文は
こまげ代々名式しるい席儒とるう教養く高保
手中乃比仙洞純和製の憶牛女言志乃は小機柳
耕耘力不休勞哉織女與牽牛人間事業何多怠天
上交歡一日秋これば牽牛は耕りて免職女は
機織とるれわざとありく男女此つと免職体とある
あるに人るは一生安閑小く恒の産業怠とるは

何れやとあるありけりタナハタ此の世に一度の繁栄を獲
 ねむすゝかありけりカズ不徳を著し急なりある俳老
 發ふ不徳をせばセイクあるもなりコラ車法を經不實生
 業等皆順正法ゴウトウ カイジニ シマウバウとありシヨノシナミナシタフタニキリく世にさる業さる実相此
 ありさ面よりあるはあまどいあるは此氏なりホケキマウ レシマウく浮世の
 車にあづるべ下碇碇ふタナハタ西の遍法あるは住僧小乗
 法の妙ありシヨノシナミナシタフタニキリく本山より招請せしホケキマウくまに浮世といふ
 和歌浅源シヨノシナミナシタフタニキリくゆきざりく雲あるはうれくからまじ

紫衣衣のちりりやめの世に養心莫善於寡欲マシハ ナレヨキハ スキキヨリフク
 孟子此スチヨヨクく少欲知足能修普賢之行ニルタルヲヨクシユスフ ケニノ キヨウと法を經
 小は説トキありニルタルヲヨクシユスフ知足富兵ニルタルヲヨクシユスフと老子此フカシサ乃り深美此
 元政のケニセリ聲ヘキまシヨとやふタリシ不タリシ樂タリシへゆきタリシて樂タリシとふとある
 欲ヨクあタリシげタリシばタリシ地獄ニルタルヲヨクシユスフへあタリシるタリシあタリシげタリシありタリシさるタリシ隠タリシ居タリシ此
 様ゼニ門モニの修リニシテ終ス乃ス相ス知ス不スじスやスくスやスとス委ス此ス浮世の紙
 屑シズ成ス漂ス多スきスしてス何スふスあるスをス人ス相ス目ス出ス度スあスとス委ス
 くス多ス心ス輔ス實スといスふス人スのス僻ス世スとスくスいスつス末ス後ス風ス

女^ト永^リ七^ニ成^ニ子^ノ成^ニび^ニく^ニ半^ノ二^ニに^ニち^ニめ
 屠^ト種^リは^ニ小^ニ児^ニより^ニ吞^ニち^ニど^ニめ^ニく^ニ長^ニる^ニもの
 染^アの^トむ^ニとい^ニつ^ニ我^ニち^ニひ^ニく

テニ
殿よりとやうくやあいう席を模し酒

書林

二条通車五所角

村上勘之丞

佛光寺通東院東門

十一
五
十
部
全
書

寧水七年

戊三月桃日

神田旅籠町壹百拾番

三河屋幸三

神田駿河町
三河屋幸三